

ご 挨拶

山形県スポーツウエルネス吹矢協会

会 長 天 池 眞 樹

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が世界で猛威をふるい、東京オリンピック・パラリンピック競技会をはじめ多くのイベント・行事が中止や延期を余儀なくされ、本当に生活がガラッと変わった年でした。世の中はステイホームへと流れていきました。

吹矢仲間達の顔を見ることも出来ず、会話も楽しめずといった、新しい生活様式の中に放り込まれてしまった感が続きました。

山形県スポーツウエルネス吹矢協会においても、4月の県協会総会、5月の県大会、各種講習会、資格認定試験、東北大会、六魂大会、全国大会の青柳杯、選手権大会、オープン大会、新春吹き初め会・・・これらも全く同じで、中止や延期となりました。

これらのこともあってか、昨年度末までに山形県スポーツウエルネス吹矢協会加盟の5つの支部と1愛好会が解散となり、100人ほどが離れていきました。

そうした中でも感染予防に十分な配慮をして、9月から「昇段・昇級試験」を再開。(12月・3月にも実施) 11月には(上)公認指導員資格認定試験、(上)公認指導員講習会を開催。

11月30日には、山形県スポーツウエルネス吹矢協会臨時総会の開催がありました。

県スポーツウエルネス吹矢協会を取り巻く状況や、協会本部の運営方針の変化・改善等を次年度に反映させるなどを確認いたしました。

ようやく沈静化するかとも思われていた矢先、今般新型コロナウイルス感染者急増のため山形市などに、緊急事態宣言が発出されてしまいました。こうしたことから再び練習会場が使用中止や、使用制限となり一緒に集まっただけの吹矢が出来なくなりました。

こうしたこともあり、本年度（令和 3 年度）の山形県スポーツウエルネス吹矢協会の総会の開催を中止し、書面決議に代えることになりました。

昨年 11 月の山形県スポーツウエルネス吹矢協会臨時総会の席でもお話ししましたが、協会本部の運営にも厳しいものがあり、各県協会に配分されていた『活動支援金』が 2020 年度は満額ではなく 20%の金額しか降りてきませんでした。『活動支援金』は大きく見直しが諮られ、これまでは一人あたりおよそ 500 円だったものが、2021年度の『活動支援金』は一人あたり 150 円となり、来年度以降は協会本部の財政状況で変動すると明言されています。

これに伴い、全国各都道府県協会の収入源確保のため、各講習会や認定試験の各事業の権限を全国各都道府県協会へ委嘱することが決定しております。

しかしながら、これだけでは山形県スポーツウエルネス吹矢協会の運営が安泰するわけではありません。各地域支部・愛好会の年会費の金額見直しの時期に来ていると感じております。

あらゆる活動・行動が規制されている状況が続いていますが、山形県スポーツウエルネス吹矢協会の仲間から感染者を出さないよう基本的な予防に徹し、感染リスクを避け、去年開催できなかった、県大会などの催事や、各種講習会、資格認定試験が実施できればと願っております。

山形県スポーツウエルネス吹矢協会会員各位の、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、先日出逢ったある教えに、

「過ぎ去った日のことは悔いず、まだこない未来にはあこがれず、とりこし苦勞をせず、
現在（いま）大切にふみしめてゆけば、身も心も健やかになる。」パーリ（中部辞典）

何故かこの時期、心に響きました。

実行するのは難しいことですが、少しでも日々の生活をこれまで以上に、大事にしたいと思います。

またいくつになっても夢を持ち続けたいと思います。